

「わくわくキッズお仕事フェスティバル」で自衛隊をPR



迷彩服を着て記念撮影する家族の様子



ブースに来た学生に説明する様子

神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 岡山一海尉）は、9月10日（土）、隊友会 県央支部の協力のもと、JR海老名駅西口周辺において行われた「わくわくキッズお仕事フェスティバル」で広報活動を行った。

このイベントは、市内の小学生300名を対象とし、地域密着の地元企業が体験型の職業紹介を行うもので、同所は昨年に引き続き3回目の参加となった。自衛隊ブースでは、自衛隊の活動紹介や迷彩服の試着体験を行い、写真撮影をする保護者からは「迷彩服が凄くかわいい」「敬礼、かっこいい」の声飛び交うほど大いに賑わっていた。また、会場の近傍には昨年にオープンした大型商業施設があり、同フェスティバルの参加者以外にも大勢の人がブースを訪れ「陸上自衛隊の普通科に興味があります」と言う学生もいた。

厚木募集案内所は、「今後も、各種イベントに積極的に参加し、地域に根差した広報活動を通じて、自衛隊への理解や関心を深めてもらえるよう努めていく」としている。

自衛隊の需品工場を研修

神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 岡山一海尉）は、9月12日陸上自衛隊駒門駐屯地において、厚木地区環境衛生協会の部隊研修を支援した。

本研修の参加者は、理容、美容及びクリーニング業に従事する方々で、衛生面に重点を置いた研修となった。

概要説明では、自衛隊の任務や駐屯地に関すること以外に隊員の髪型や生活についてユーモアを交えた説明に、研修者はリラックスしながらも衛生面に関わることには特に関心をもって耳を傾けていた。次いで需品整備工場の見学では、同じクリーニング業に従事されていることもあり、2名で駐屯地内の洗濯業務を実施していることに驚かされていた。

また、昼隊員食堂での体験喫食の際、食堂入口にある手洗い励行のポスター掲示や室内の衛生環境への配慮等を見て、自衛隊の衛生面に対する意識の高さを認識して頂くとともに、帰りのバスに乗り込む際には、研修者から「これからもがんばってください」「リーフレットやポスターを貼りますよ」などの声を聞くことができた。

厚木募集案内所は、「今後も自衛隊の多種多様な仕事を知ってもらうことで、地域に密着した募集活動に繋がっていくたい」としている。



駐屯地広報の概要説明を受ける研修者



米軍の1t爆弾の説明中



装備品パネルの説明



洗濯工場で担当者の説明を受ける



乾燥機の説明中



工場前で記念撮影